

# 読書の家から



## 新刊案内

### ■あぶた読書の家

△一般▽山本周五郎長編小説全集 全26巻 第17巻・第18巻 天地静大 上/下(山本周五郎)▽差別と教育と私(上原善広)▽日本列島 地震の年史(監修・保立道久/成田竜一)▽いちばん簡単な、野菜フリージングの本(朝倉ユキ)▽骨盤教室(寺門琢己)▽最後のおでん(北大路公子)▽かもめのジョナサン完全版(パール・バック/訳・五木寛之)▽決断(小杉健治)▽恋情の(北原亞以子)▽高校入試(湊かなえ)

### ■みずうみ読書の家

△児童書▽あたし・うそついちやつた(ローラ・ランキン/訳せなけいこ)▽どくした、どくした(天童荒太/荒井良二)▽くじらのあかちゃん、おおきくなあくれ(神沢利子/あべ弘士)▽目にみえないもの(星の王子様と10人の探求者たち)▽ずかんヘンテコ姿の生き物(今泉忠明)▽かいけつゾロリシリーズ55かいけつゾロリのだいま人をさがせ(原ゆたか)

△一般▽男ともだち(千早茜)▽辞書になった男(佐々木健一)▽弓張ノ月(佐伯泰英)▽今こそ読みたい児童文学100(赤木かんな)▽結婚(橋本治)▽俺の喉は一声千両

### ■ピノキオ読み聞かせの会

(岡本和朗)▽世界遺産にされて富士山は泣いている(野口健)▽山女日記(湊かなえ)▽勁草の人(高杉良)▽おかげさまで生きる(矢作直樹)▽春の庭(柴崎友香)▽忘却のレーテ(法条遙)▽サイレントステップ(本城雅人)▽無双の花(葉室麟)▽雨の狩人(大沢在昌)▽町の人生(岸政彦)▽妬ましい行き方(アルボムラレ・スマナサーラ)▽愛と暴力の戦後とその後(赤坂真理)▽理系アナ柘太一の生物部な毎日(柘太一)▽サル化する人間社会(山際寿一)

■日時 10月6日(月)午後2時30分

■場所 あぶた読書の家

■開館時間 午前10時より午後4時20分まで(月曜日のみ午前10時より午後6時まで)

●9月休館日 11日・15日・18日・23日・25日・10月2日・9日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎76・2100  
みずうみ読書の家 ☎75・4702

## 今月の1冊



### おこる

作 中川ひろたか  
絵 長谷川義史

まいにちおこられてばかりのぼく。なんでぼくはおこられるのだろう?なんで?人はおこるのだろうってぎもん誰でもきつと持ったことがあるはず。大人も、子どもも“おこらない”ためには、どうすれば良いのか?話し合ってください。



## わたしのうた

### 短歌

【あぶた短歌会】

八月定例会



ひとときの雨にぬれたるあじさいは

庭の隈にてみづみづと咲きて

大西 芳子

足なえの人ゆへことさら身にしむと

外氣にふるるその喜びは

山木 孝

こんなにも暑き日続くは何ゆえか

環境破壊の歯止めはどうなる

太田 智

てきぱきと働きをりし看護師を

羨み見つ診療を待つ

北島 加代

まな板の音きこえる夏の朝

今日一日の安らぎ思ふ

元田 フジ子

### 俳句

【あぶた俳句会】

八月定例会

消えかけの朝虹に逢い掌を合わす

虹の橋われはわれなり八十路かな

那須 伶子

虹渡る渡り渡れぬ湾かもめ

茶毘煙り虹立つ方へ流れけり

小笠原 勇

放水のダムに無限の虹さらら

菅原 敏子